

秋期のクマに注意してください

今年は、クマの生息地域において、堅果類（ドングリ）が凶作又は不作となっています。このような年はクマがエサを求めて広範囲に移動したり、実のなっている木に居着いたりすることがあり、通常はクマを見ることのない場所でもクマと遭遇する可能性があります。

このため、クマとの遭遇を避けるとともに、万一、遭遇した際には適切に対処できるよう、以下の点に留意してください。

<山林内などでクマに出会わないために>

- ・音の出るもの（鈴やラジオ）を携帯し、人の存在をクマに知らせる。
- ・クマの新しい糞や足跡などを見つけたら引き返す。
- ・雨や風のある日や沢沿いでは人が出す音がクマに聞こえにくいので、周囲に気を配る。
- ・弁当の残りや容器・ペットボトル・缶などのゴミは必ず持ち帰る。

<出会ってしまったら>

- ・クマは危険であるとの認識を持つ。
- ・静かに、走らず、ゆっくり後退してクマから離れ、絶対に近づかない。
- ・近づいたり、その場で観察し続けたり、撮影したりしない。



お問合せ先

栃木県環境森林部自然環境課

電話：028-623-3261